

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	【編成方針】 - キリスト教精神に基づいたホスピタリティを養うための専門関連科目を1、2年次に渡り配置する。 - 自立した女性として、国際社会に貢献できる資質を身につけるために、専門基礎科目に「英語キャリア戦略」を配置する。 - 同じく、専門基幹科目からは「英語英文学基礎演習」を1年次に配置する。 【実施方針】 1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。 - 国際社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。	【期待する能力】 英語という言葉に関心があり、同時に英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーションに幅広く関心を持っている。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	【編成方針】 - 英語圏の文化及び言語・コミュニケーション、英語教育についての多様な側面をバランス良く学び、文化、社会、言語についての幅広い知識と教養を学修できるよう科目を配置する。 【実施方針】 - 専門基幹科目から英語圏文学、言語、コミュニケーション各概論科目を1年次に設け、各専門分野に関する基礎知識の獲得を目指す。 - 専門講読、研究方法論を2年次に配置し、英語英文学演習（ゼミ）に向けて、各専門における研究のあり方を学ぶ。 - 教育に関する基礎知識を獲得する機会を提供する。	【期待する能力】 英語圏の文化や文学に関心があり、高校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 【選考方法】 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、学力試験、レポート
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	【編成方針】 - 英語を媒介としたコミュニケーション力をはぐくむために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野に関するテーマを英語で学習するCLIL（内容言語統合型学習）に基づく専門基礎科目を設定する。 - 英語圏文学、言語、コミュニケーション各専門分野における書き言葉を使いこなす英語力を伸ばすために、1～3年次に必修科目として配置する。 - 英語に関するより専門的・実践的な学びの機会を提供するために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を、2、3年次中心に設定する。 【実施方針】 - レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。 - グローバル社会へ対応すべく、議論や発表の場において、英語を自分の言葉として運用できる力を養成する。	【期待する能力】 高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。 【選考方法】 面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	【編成方針】 - 現代社会、特に国際社会のさまざまな課題について多角的に考察できる。 - 上記の課題解決に貢献するために不可欠な情報を収集・分析する能力と論理的な思考力を身につけている。	【期待する能力】 英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	【編成方針】 - 様々な国籍と文化背景の人々と、英語を介してインタラクション（相互作用）できる言語能力を身につけている。 - 上記を実現するために、異文化理解に基づいたコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	【期待する能力】 高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。 【選考方法】 面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学習経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	【編成方針】 - 現代社会、特に国際社会のさまざまな課題について多角的に考察できる。 - 上記の課題解決に貢献するために不可欠な情報を収集・分析する能力と論理的な思考力を身につけている。	【期待する能力】 英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート

国際言語文化学部 国際日本文化学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を備えている。 ・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけている。 【編成方針】 ・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性や奉仕の精神をはぐくむために、共通教育科目「カトリック教育」に必修科目および選択必修科目を設定する。 ・同じく、キリスト教と哲学・音楽などを関連させた科目を専門教育科目に配置する。 ・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけるために、共通教育科目「ライフキャリア形成」に選択必修科目を設定する。 【実施方針】 ・1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。 ・現代社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本の文化・言語について学ぶ意欲があり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりの中で、自己の人格を高めることに興味・関心があり、努力しようとしている。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、面接
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・「日本語日本文化」「国際文化」の2領域にわたる基礎知識、国際的な視野と教養をもっている。 ・「日本語日本文化」および「国際文化」に関する事象について考察するために必要な基礎的な技能を身につけている。 【編成方針】 ・専門教育科目に「日本語日本文化」と「国際文化」の2領域を設定し、領域横断的に学修できるよう科目を配置する。 ・領域間・科目間の関連性・系統性に留意して科目を配置する。 【実施方針】 ・学生の興味関心に応じた学びの機会を提供する。 ・各領域に関する基礎知識の確かな獲得を目指す。 ・獲得した知識の理解を深め、自分の考察に生かせるよう指導を行う。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本、およびその文化や言語について関心を持ち、高等学校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・多様化、複雑化する現代社会が抱える諸課題に人文学的観点から対応する態度をもっている。 ・上記を実現するために必要な日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。 【編成方針】 ・基礎的な英語力ををはぐくむために、共通教育科目「外国語」に必修科目を設定する。 ・英語に関するより専門的・実践的な学びや、英語以外の言語についての学びの機会を提供するために、共通教育科目「外国語」に選択必修科目を設定する。 ・書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力を伸ばすための科目を専門教育科目に配置する。 ・社会人としてのプレゼンテーション能力を鍛えるための科目を専門教育科目に配置する。 【実施方針】 ・レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。 ・獲得した国語力・プレゼンテーション能力を、様々な場面で生かすように指導する。	〔期待する能力〕 高等学校卒業程度の国語力を持ち、書き言葉、話し言葉の両面でコミュニケーション力に磨きをかけることに関心を持っている。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・現代社会のさまざまな課題について人文学的観点から考察できる。 ・上記の課題解決に貢献するために不可欠な情報を収集・分析する能力と論理的な思考力を身につけている。 【編成方針】 ・基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力ををはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。 ・同じく、関連科目を専門教育科目1・2年次に必修科目として配置する。 ・より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。 【実施方針】 ・グループワークやフィールドワーク等を積極的に取り入れる。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本の文化・言語に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探求するための文献調査や情報検索の方法について、ある程度習得している。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・獲得したコミュニケーション能力を土台に、さまざまな他者と共生・協働する力を身につけている。 【編成方針】 ・共生・協働の意義を理解するために、国際関係や多文化理解等に関する科目を専門教育科目に配置する。 ・日本語を通じたコミュニケーション能力を体系的に向上させるための科目を専門教育科目「基礎」に必修科目として配置する。 【実施方針】 ・コミュニケーション能力をはぐくむ授業ではグループワークを重視する。	〔期待する能力〕 他者との基本的なコミュニケーション力があり、他者と共生・協働して、社会への貢献を行うことに関心がある。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、その成果をまとめ、発信することができる。 【編成方針】 自ら「問い」を立て、探究する能力を身につけるための科目を専門教育科目1～4年次に必修科目として体系的に配置する。 【実施方針】 ・興味関心や意欲を大切にし、主体的に課題に取り組む授業を行う。	〔期待する能力〕 世界や日本の文化・言語に関連して、ユニークな発想による企画や研究・制作を行い、社会に発信することに関心がある。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、レポート、面接